

浅間山の火山活動について 噴火警報切替え、噴火警戒レベル3（入山規制）継続

引き続き火口から4キロメートルの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

浅間山では、2日の噴火以降、噴火の発生はなく、噴火が切迫していることを示していた傾斜変化や火山性地震の活動は、ほとんど認められなくなりましたが、噴煙量や火山ガスの放出量が多いなど、現在も火山活動の高まった状態が続いています。

これらのことから、今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生する可能性があると考えられますので、山頂火口から4キロメートルの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

また、風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

浅間山では噴火警戒レベル3（入山規制）が継続しています。

今回の噴火警報の切替えにより、浅間白根火山ルート（鬼押ハイウェイ）及び白糸ハイランドウェイの通行規制が解除されます。

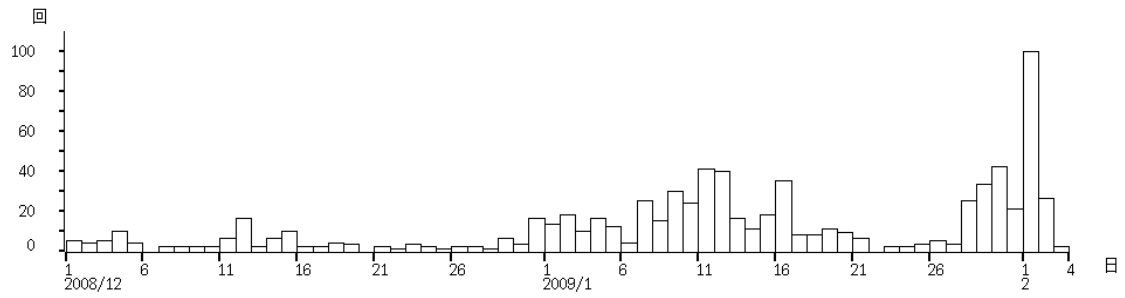


図1 浅間山 BH型地震日別回数 (2008年12月1日~2009年2月3日)

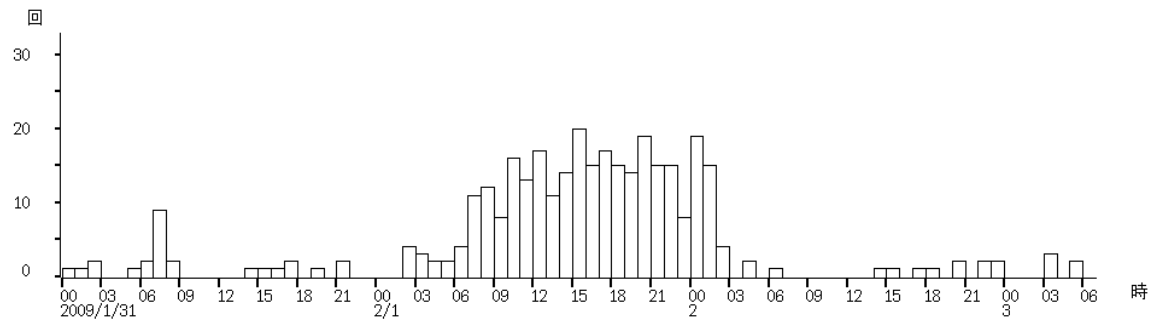


図2 浅間山 BH型地震時別回数 (2009年1月31日~年2月3日)

浅間山 (分値)

2009/01/29 00:00 -- 2009/02/03 06:37

EXP. NEup 1.0E-06 radian
0.0001 degree
10 count

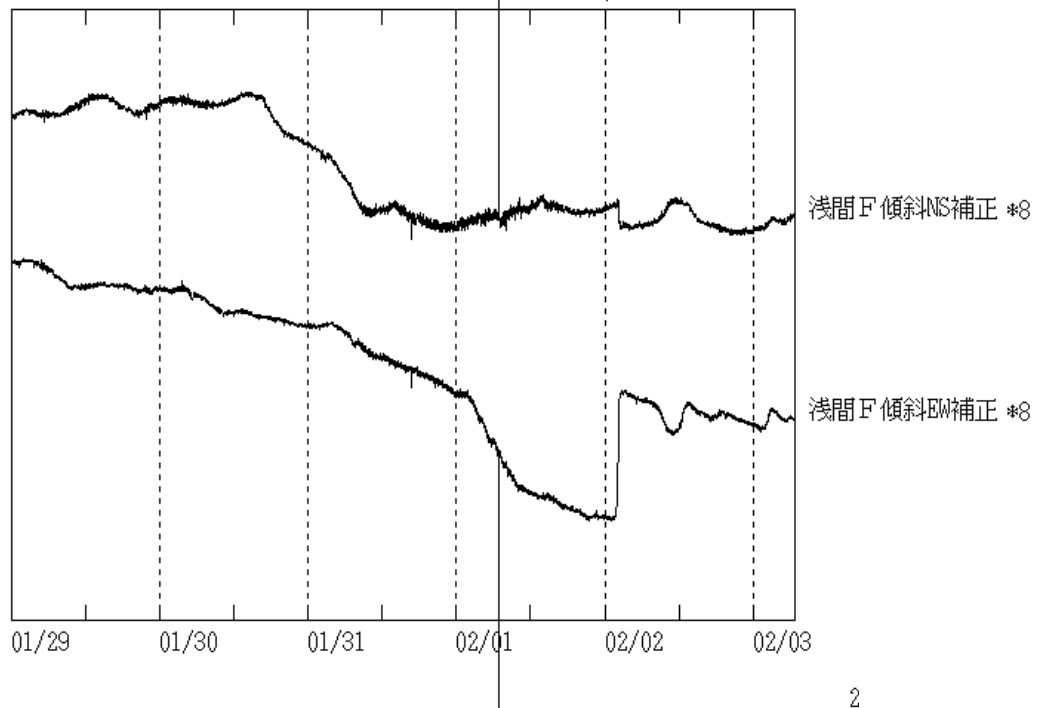


図3 浅間山 傾斜計变化

浅間山 居住区域及び火口周辺の保全対象 【レベル3】

